

有宵会だより

第124号
発行所
特定非営利活動法人
岳易館・有宵会
編集 広報部
松戸市新松戸1-6

九星と易断による 八月・九月の運勢

気学では申の八白
八月七日（立秋）節入

生氣		
7	3	5
6	8	1
2	4	9
破ア		
天道		

気学では酉の七赤
九月七日（白露）節入

生氣		
6	2	4
5	7	9
1	3	8
破		
天道		



七月の集中豪雨

七月の気温は三十九度を
超え、四十度に迫る。
猛暑の中に身を潜めている
毎日ですが、七月二十
五日、山形酒田方面に大
雨特別警報が出て、テレ
ビ報道ではこれまでに経
験したことのない大雨の
こと。その通りの結果で、
229ミリの降雨で、地
元の古老は69年間、初
めの体験という。
大雨から河川の増水氾
濫が予想されるので、占
め的大雨の成行き被害に
ついてです。
得卦は「水天需の上六」
爻辞は「穴に入る。招か
ざる客三人来たる」。
需卦は降雨であり、予
期していない状況が三点
あったことでしょう。こ
の卦ではお見舞いと共に、
修復は比較的に要領よく
処置することでしょう。
八月の豪雨は「沢水困
の九二」。象は雲上から
散水するので西から北方
の地域に危険が迫りかけ
る意があります。

一白水星の人の運勢

八月筮―雷地予六二
九月筮―震為雷九四
八月の猛暑を凌ぎ心身
が安らぐ。仕事は過重に
ならず一息つく。家庭は
変わらず安心。金銭は紐
をつけ無難にいく。愚痴
を言わず我慢と体調余力。
九月は日常生活を改め
る。私物の整理や断捨離
をする。仕事は地味。人
に頼らない。家庭は円満
だが口に気をつける。体
重は重い。

二黒土星の人の運勢

八月筮―火山旅六二
九月筮―天地否九四
八月は雑多な用事多く、
忙しく気遣う。仕事では
頼れず一人で汗をかく。
家具や電化品の故障に用
心。内密事は碌な事ない。
風に腰痛が伴いやすい。
九月は肩の荷をすつき
りさせたい。仕事は見通
しが付くが下旬の予定は
変わる。親子の密度は高
い。出費あり。心気亢進

に留意。

三碧木星の人の運勢

八月筮―風火家人九五
九月筮―天火同人初九
八月は平穏運。諸事気
になるが、急がずに待つ。
家事は家長の指示に従う。
仕事では相互不信を正し
て決める。健康変わらず。
九月運は大きく動かず
小さく動く。仕事は上司
に合わせる協調心が大事。
親子は絆を強めるが夫婦
は愛を結ぶ。足腰を守る。

四緑木星の人の運勢

八月筮―水風井九五
九月筮―雷風恒九二
八月は前月の難事から
落ち着く。当たり障りが
なく安心。仕事軽く余力
あり。家事は乱雑に終わ
る。もしも禍あれば福と
変わる。金運平
凡、体調回復。

五黄土星の人の運勢

八月筮―沢水困九五
九月筮―火地晋六五
八月は平穏と思われた

が意外な変化に臨機応変
に処理。仕事は手一杯で
現状維持を守る。日常で
うっかり失念。油断大敵。
財布と心身、お大事に。

九月は何かと自重しな
がら進める。仕事は終わ
りが肝心と手を抜かない。
交渉仲介など物別れと金
員は自重。目や鼻の消耗
あり。

六白金星の人の運勢

八月筮―地天泰上六
九月筮―水地比六二
八月は猛暑に気が減入
るが上手に体調を維持。
仕事は拘らずゆとり仕
上げる。若手は出る杭打
たれるので謙虚に。入り
用金と体調の回復を図る。
九月は順調運で懸案の
問題は解消。仕事は予定
通りの作業で有益。家庭
に喜びと金銭の守りを固
める。食欲あれば安心。

七赤金星の人の運勢

八月筮―艮為山初六
九月筮―風天小畜上九
八月は厳しい猛暑の中
にも涼風あり。仕事は下
旬に思いがけずの喜びが
舞い込む。また人の世の
儂さを感じたりと心が動
くが心身穏やかなとき。

九月は公私に用事が多
く、忙しい。仕事は繰り
返しが続く。私事で気
になる問題は残しておく。
金運正しく体調整える心
がけ。

八白土星の人の運勢

八月筮―沢水困六三
九月筮―天地否九五
八月は中宮で何かと忙
しいが猛暑のため一休み。
仕事は停滞気味。家庭で
は改善案、家族の絆を守
る。今後の希望を叶える
努力吉。風邪に用心。

九紫火星の人の運勢

八月筮―天水訟初六
九月筮―地風升九三
八月の運気は天を見る。
チャンスは下旬にあるの
で期待含む。炎暑に勝て
ないが静かに心を癒やす。
お盆の墓参りや帰省の場
合は人間味に感動受ける。
九月は慎重に。自信は
あるが強気に出るとトラ
ブル招く。誤解と口難、
安請け合いの失敗と散財
に用心。夏バテ対策を。

五月有宵会報告

安齋美佐先生

五月二十五日（土）足立区勤労福祉会館において、有宵会の定期例会が開催されました。佐藤宗眩先生の司会のもと、金原玄周先生、福田有宵先生による人相学についての講演が行われました。

人相の基礎

「三停論」

金原玄周先生

今日は石本有孚（いしもとゆうふ）先生の人相学について、お話をさせていただきます。

十五年ほど前に大阪に赴任する機会があり、福田先生に石本先生を紹介していただいたご縁で、約三年間、教室に通わせていただきました。その人相教室で学んだことを紹介したいと思います。

●三形質

三停論の話に入る前に、顔の形の種類から話を進

めます。逆三角型、四角型、丸型の三つの形を基本とし、特徴をみます。

逆三角型の人は、弱く繊細な内面をもつ。体を動かすのが苦手。空想型、不実行型のタイプ。頭の回転は速いが、人付き合いは苦手。

四角型は、顔型も体つきも筋肉質、内面も肉感的でパワーがある。行動力、実行力、生活力の最も旺盛な顔型。積極的にテキパキとするが、考えるのは苦手なところもある。

丸型は、行き渡った栄養が豊かさや和を体现する。「実行型」の四角型や「不実行型」の逆三角型の間。四角型にも逆三角型にも片足ずつ踏み入れたような性格で円満型、要領型と言われる。対人関係が上手だが、ちゃんぽらんなところもある。極端な逆三角型、四角型、丸型というのとはなかなかありませんが、必ず皆さん、どんな方でもこの特徴を少しずつ持つていて、これらの混合型ということになります。

●三停論

顔を大きく三つに分けるのが三停論の基本です。髪の毛の生え際から眉間の真ん中ぐらいいまでが「上停」、眉間から鼻の頭までが「中停」、鼻からあごの先までが「下停」になります。

「上停」は知性や知恵、先祖・両親、目上の人たちとの縁、持って生まれた宿命的要素など。「中停」は意思の力や活力、社会との関わり、決断力や実行力。「下停」は愛情や人情といった感情や情緒に関すること、子供運、家庭運、住居運、部下や後輩、地位など。（※三停の説明、「占い大全」から引用）

それぞれの肌の状態、色つや、肉付き、弾力などを見ながら、トータルで判断をします。上停、中停、下停の別の言い方としては、「天停」「人停」「地停」というものもあり、また意味合いとしても、上停は心性質であり、「知」の部分であり、若年運で二十五歳位まで。

中停は筋骨質であり、「意」の部分であり、中年運で二十五〜四十五歳位まで。

下停は栄養質であり、「情」の部分であり、晩年運四十五歳以降を示しています。

石本先生の教室では、眉間の部分、いわゆる「印堂」を「命宮」と呼び、重要視されていました。

また、三停論を用いての運勢判断法の例えの一つとして、顔を会社組織としてお話してくださいました。

製造メーカーで言うと、上停は設計図をかく、アイデアがひらめくところ。中停は設計図を基に商品を製造し、作ったものを販売するところ。

下停は売ったことで成果を得る、つまり入ってきたお金を蓄える金庫のようなところ。

命宮は、上停でひらめいたアイデアから売り方を考える部分、マーケティングのようなところ。

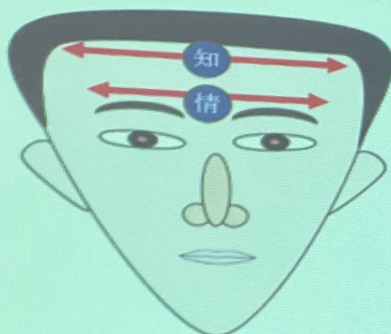
そういった意味でも命宮は重要になってくるという説明をされています。

た。やはり会社組織というのは全部の部署がバランスよくまわっていないと、うまくいかないところ

ろがありますので、それと同じように顔を見れば、どの部分に特徴があり、どの部分が弱いかわかるというところが読み取れるので

三停論を細かくみる一例 - 上停

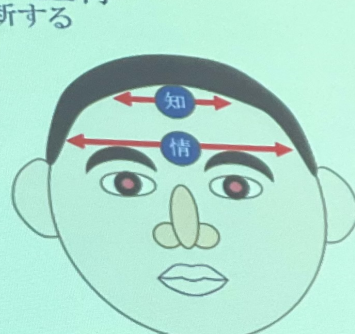
①おでこの形で相手の知性を判断する



逆三角形のおでこ
頭の切れがよい
人につめたい



四角型のおでこ
理屈派 じっくり考える
現実的



丸型のおでこ
閃き派 あまり考えない
情に流されやすい

横幅の広さ、縦の高さも併せて判断する

はないかと思いました。



先ほどの顔の形で説明しますと、例えば逆三角形の場合、アイデアを出すのは非常に得意だけれど、商品の製造や販売するところは弱い。なおかつ販売するところが弱いのでお金もたまらないから、やはり下停のあごの部分で細くなっていると。

四角型の場合は良いアイデアも出すし、製造ラインもしっかりしているし、販売も良いため、お金もしっかり蓄えることができる。非常にバランスが良い会社と見ることでできると思います。

ただ、全てうまくまわっ

ているバランスの良い会社というのは、今の状況に満足していますので、堅実ではあるけれども、ちよつと発展がないかもしれないと読み取れるのではないかなと思います。

丸型の場合は上の方がちよつと狭くて、真ん中が充実している。つまり、どちらかというと商品のアイデアよりも人とのコミュニケーションをよく取って、そこそこの商品でも、うまく売ることができる。会社としては安定しているけれども良い商品がないので、その部分で将来性には少し不安がある。丸型の人はそう

いう運勢であるというように見方で置き換えることもできるのではないかと思います。

●三停論… 一生の運勢をみる

また、三停論で一生の運勢をみることができます。非常に簡単で、上停は初年運、中停は中年運、下停は晩年運と見ます。

逆三角形の顔の場合は非常にわかりやすく、上停は非常に広くて下停になるほどだんだん先細りしていくというところで、初年運は良いが、晩年運が悪いというように見ることがができます。

一方、四角型の場合は上から下まで同じ幅であるというところで見ると、平均した運を持っている。丸型は中停の部分がふつくらしていて、下停の部分も一応ふつくらしている。なので、中年が一番良く、次に晩年が良いということになりますね。

そういった形で、その人がどの年代で特徴的に活躍できるかということを見ることができます。

石本先生の鑑定では、三停を見て顔の欠点を知り、どう対処するかどう生きるかを知ってください。お客様のどこに特徴があつて、長所、短所があつてというところを見て、アドバイスを。手段の一つとして人相が非常に有効である、と。

皆さん、お客様などの相談を受けることが多いと思いますが、やはり目的の一つとして、より良い晩年をお客様に送ってもらうために、どうアドバイスを与えるかというところを一つ念頭に置いていただくというのではないかなと思います。

●三停論を細かくみる(上停)

上停の部分を三つに分け、更に細かく見ていきます。

上程にも幅と高さがあり、その部分も意味合いがあります。幅の部分では、知力・分析力・推理力の広さを示し、高さの部分では感情の深さを見ることがができます。高さの部分をも更に「知」「意」「情」に三分割します。

逆三角形の場合は、「知」を表す上停の中の「知」の部分が広く、「情」の部分が狭いというところで見ると、頭のキレは良いけれど人に冷たい。

四角型の場合は、「知」と「意」と「情」の部分がそれぞれ同じ幅であるので、バランスが取れていて現実的。

丸型の場合は、「知」が狭く、「情」の部分が広いので、情に流されやすく、考えが浅くなってしまうというところでは閃きに頼ってしまうことがある。

上停一つでも、三つに分けることで、このように細かくみることができ



ます。

最後に、石本先生が非常に訴えたかったこととしては、「全ては心が先にあつて、相はあとからついてくるもの。心が変われば形が変わる、人相が変わる」というところですね。そこを今日は覚えていただいて、話を終えたいと思います。

続いて、昭和六十二年の石本有孚先生による「人相奥秘伝 氣血色と面相の世界」というご講義のプリントを使用し、福田先生にご説明いただきました。

「人相の不思議」

福田有宵先生

「人相奥秘伝 氣血色と画相の世界」のタイトルにあります「氣血色」というのは、氣色という色と血色という色の二種類のことです。

血色というのは血液を表していますから、大体は赤の色、それから少しピンクの色。その他にはえんじの色。紫の色も血色という種類に入ります。氣色というのはどういうものかと言いますと、現在から、これからの未来にかけて、どういう意味があるか、どういうことが起きるだろうかということで、微細な線が出るんです。

顔の中に、二ミリ以上、五ミリ、十ミリという筋が見える。この色が大体、鉛色なんです。鉛色になると、金色に光って艶がある。

しかし、氣色の中にも蒙色という、ちよつと曇りの色もあるわけなんです。それを見て、どういう意味なのかを判断の材料にします。

次に「画相」とありますね。これは霊相ということなんです。画相には、こういったものを含んでいるというふうに捉えていただきたい。

実例一

離婚の話で相談に来た女性。上停左のところに点々と十字紋が出ている。

石本先生の易占としての答えは、「もう少し辛抱しなさい」ということでしたが、人相から不思議だなと思ったことがあったようです。

「一番に目に付くのは十字架の画像で、その一つ一つが薄赤いリングに見えます。それが命宮の方へ寝ている」

石本先生にはこの画相が普通に見えるわけです。そして、十字紋の説明が色々と書かれていますね。この色は信仰の色である。と。命宮は眉間のところですね。そこは上停中停にかかる場所、要するに、上停と中停の意味合いを含むというのが非常に深いところなんです。

彼女の信仰について聞くと、夫の母親が成長の

家の信者で座談会に一緒

に行ったりする、と。しかし、実家がクリスチャンで自分も幼い時に洗礼を受けており、離婚を機にクリスチャンに戻りたいと思っている。

このようなわけで十字架の画相が出たのです。

画相はどこに出て、どこに行くかというのが大事なポイントなんです。

この図でいきますと、眉の中央から上の部位に問題があり、そこから命宮にかけて十字紋が読み取られています。

ここで、日角か月角かをみるのですが、女性の右の方から出ていますから、日角から命宮に入る

ということなんです。

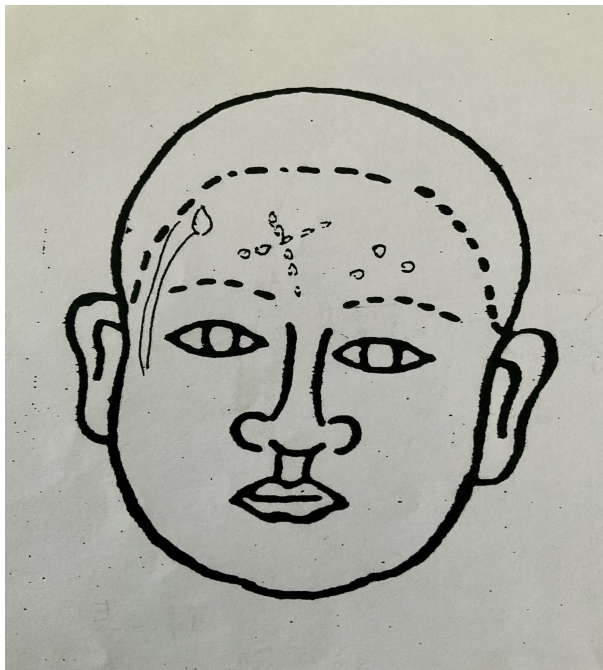
そうしますと、これは先祖であり、父親なんです。そういう中から一つの原因が生じているということになります。

「十字架が段々立って来ます。」

立つという表現はどういうことだと思えますか？顔の中から浮かび上がってくるんです。皆さん、ここは急所です。

十字架がだんだん立って命宮に入っているのは、本人の運命に非常に関わってくるんです。

「法令の外から観骨の端を通って辺地の方へ上がっているのは家出の色」これが氣色なんです。



上瞼は田宅といい、こ

れが家庭を表す部分であるとともに、法令も我が家の台所なんです。鼻の下の食禄や口の水星も台所を表す、我が家なんです。そういうところから出ている場合は、我が家の問題が氣色の中に現れる。

ここでは、「法令の外から」とあるので、家出と言っても単なる旅行程度で済むということです。その脇（横顔）に先方の女と思われる画相が出ていますが、

「田宅より離れていますし、隠れていますのでおそらく世帯を持つような事はありません」

画相は、顔の正面に現れた方が今の事実を伝えているんです。

横の方に現れているのは、まだ潜伏をしていたい、待っていたい、隠れている、ということ。そういうものが横顔に現れるんです。

実例二

天停に笠をかぶった弘法大師の行脚のお姿のような画相が出ている。笠をかぶっているのは、

天中、天庭のところなんです。お体のところは、司空、中正になっていきます。信仰心や先祖の關係があるというのが、大体この天中、天庭に現れる。なかなか大きな画相ですが、この図のようにお姿が現れた場合には、これは非常に助けられます。例えば病気で危ないという場合、助けられる。命が耐えられると言えます。

司空、中正の説明をしますと、司空というのは警察であったり、司法の裁判所であったりします。ですから、おでこの真ん中の司空のところに赤い点や線、赤い模様が出てくると、警察問題や事件に絡んでいるとか、あるいは火災の予告とみることもできます。

印鑑の問題も、司空、中正に出るんです。

裁判に勝つ場合は、司空、中正にパツと晴れ間が出たような明るい色を見ることができます。

それは何故か？ 人相は予知能力があるからなんです。自分の心で色々なことを察するでしょ？ どうしたものか、それが



顔に出るわけなんです。

それはやっぱり心。石本先生も言われたように、心があつて、そこが出るんです。その通りなんです。

そうは出ない場合はどうしてか？ というのが、次の課題になりますね。

今日は、金原先生がこの石本先生から直接に学問を受けられたというところの素晴らしさを感じることができましたね。

私は想像するんですけどね、石本先生は、こういう風に前に立たれて話をして、自分の思いを語るのに、こう歩いただろう

と思うんです。

正面を向いた時は厳しい言い方をして、ちよつと目を伏せたりなんかする時は、感慨深いお顔をしておられたんだろうと思います。

金原先生、福田先生のご講演は、人相学の勉強はもとより、石本先生の存在を感じさせていただけるような貴重なお話でした。ありがとうございます。

【NPO通信】

次のかたがたより、有

宵会活動に関する賛助金を賜りました。

また今回より、能登半島地震災害義援金にご協力をしてくださったかたについてもご報告させていただきます。

皆様からのご厚情に心から御礼申し上げます。
令和六年七月一日現在
(敬称略・順不同)

◎能登半島地震災害義援金ご協力者

今中正美
今中麻祐子

◎有宵会賛助金ご協力者

杉本侑穂 阿部治
河野有泉 岩崎杏泉
市原敬子 金原玄周

*賛助金を銀行振り込みでお送り頂いた場合は掲載が遅れることがあります。何卒ご了承ください。

◎行事・活動報告

《鑑定会報告》

◆「二〇二四

はねかめまつり」占いコーナー（無料）

・日程／令和六年七月十四日（日）
十時〜十五時

・場所／江東区
亀戸文化センター
亀戸占い館 五階
第一・二研修室

・鑑定人数九十一名
・出演者 八名

《出演者 氏名》
(敬称略・順不同)

佐藤宗眩 野口宗恩
慶峰 佐々木敦子
濱口リラ 長澤光祐
卯月亭 今中麻祐子

《寸評》朝のうち小雨の為か、人の入りが悪かったが徐々に回復して、相談者を待たせる事なく丁度良い状態で終えることが出来ました。（亀戸文化センター）所長より感謝の言葉を頂戴いたしました。
報告…佐藤宗眩先生

《イベント報告》

◆検見川神社 夏越大祓式（大茅の輪くぐり）

・日程／令和六年六月三十日（日）

・場所…検見川神社（千葉県市花見川区）

*参加者 四十六名
*郵送祈願 十一名

《会場参加者 氏名》
(敬称略・順不同)

福田有宵 佐藤宗眩
富澤岑子 小宮有理
岩崎杏泉 慶峰
阿部治 八川林加 近藤幹恵

甲本安紀子
渋谷由紀子
山下チヅ子

宮田麻有 安齋美佐
谷岡静枝 秀和仙宵
宮崎民子 市原敬子 中村信子 川又早苗
佐々木陽子
他、有志の方々

今年の夏越大祓は、周辺住民の方や神社様の評判を聞いた一般の参拝者で大変な賑わいでした。
有宵会からも有志らが集

い参加をして参りました。茅の輪くぐりから拝殿での特別祈願に至るまでの間は、混雑のため相当の時間を要する状況でしたが、半年間の穢れを祓うべく、各々がじつくりとお参りをいたしました。

◎次回行事予定

《鑑定会情報》

◇「ふれあいまつり」
占いコーナー（無料）

・日程／令和六年八月十八日（日）
十時〜十二時
十三時〜十五時

・場所／江東区
東大島文化センター
三階 第一研修室

(都営地下鉄新宿線 東大島駅 大島口出口より徒歩五分)
*お問合せは、佐藤宗眩先生まで。

◇第三十三回

三鷹国際フェスティバル
占いコーナー（無料）

・日程／令和六年
九月二十二日
(日・秋分の日)

・場所／井の頭恩賜公園
西園競技場、文化交流広
場及び野球場周辺
(JR三鷹駅・吉祥寺駅
から徒歩十五分 路線バ
スあり)

＊ご出演いただける先生
方を募集中です。
＊お問合せは、佐藤宗眩
先生まで。

【協力のお願ひ】

近年は、各自治体やイ
ベント主催団体から、占
いコーナー(鑑定会)の
ご依頼を多数いただいて
おります。しかし、コロ
ナ禍を境に、有宵会の鑑
定会にご出演してくださ
る先生方が不足している
現状があります。

福田有宵先生や佐藤宗
眩先生は、いまだ現役で
各鑑定会にご出演をして
くださっています。有
宵会の社会奉仕活動の継
続には、会員皆様のご協
力が必要となります。

若手の先生はもちろん
のこと、ベテランの先生
方のお力もお借りできま
すと幸いです。

有宵会の活動にご協力
をいただける方は、福田
有宵先生、佐藤宗眩先生
または、有宵会事務局
八川までご連絡ください。

◆次回 有宵会例会の
お知らせ◆

日程／令和六年
九月二十八日(土)
十三時〜十七時

会場／

足立区勤労福祉会館
ブルミエ第二洋室
(千代田線 綾瀬駅
西口 徒歩三分)

・第一部／

「人相の基礎…三停論
(3)」

講師…金原玄周先生

・第二部／

福田有宵先生ご講演

＊今後も、例会およびイ
ベント内容は、直前に変
更・中止となる場合がご
ざいます。各種の更新情

報は、有宵会ホームペー
ジで定期的にご確認くだ
さい。

■【要必読】会員更
新手続きについて

◆年会費／八千円

◆会費納入期限／
令和六年十月末日迄

＊引き続き有宵会の会員
としてご継続をいただい
るかたは、七月の総会以
降、十月末日までに、年
会費の納入をお願いいた
します。

■登録内容にご変更
がある方へ

有宵会に登録している
ご氏名・ペンネームや占
名(新規設定を含む)・
ご住所・電話番号(携帯
電話番号およびFAX番
号を含む)にご変更があつ
た場合は、
「登録内容変更申請書」
に変更理由をご記入のう
え、必ずご本人から有宵
会事務局宛てに届け出を

お願いいたします。

＊登録情報の変更は、基
本的にご本人からの申請
で受付しております。

第三者からのご依頼は、
トラブルの原因となるた
めお受けしておりません。
また、メールや電話の
みのご連絡も同様の理由
からお受けしておりませ
ん。

特別なご事情があるか
たは、個々にご相談させ
ていただきますので、事
務局 八川までご連絡く
ださい。

＊総会および例会にご欠
席されたかたでの変更項
目があるかたは、事務局
までご一報ください。
「変更申請書」を別途、
後送させていただきます。

■【七月の総会にご欠
席されたかたへ】

令和六年六月末時点で
退会のご連絡がないかた
には、七月の総会后、会
報誌等の他、年会費のお
振込み先口座と事務局の
連絡先を記載したピラを

同封しております。

必ずご確認を頂きます
ようお願いいたします。

＊会員更新は自由判断と
なりますが、退会をご予
定されるかたは、予め福
田有宵理事長にはご連絡
をお願いいたします。

＊事務処理の関係で、十
月末迄に会費の納入がな
く、ご継続のご意思や何
らかのご連絡も確認でき
ない場合は、会報誌等の
送付をお止めいたします。

＊退会後について

退会後は、NPO法人
岳易館・有宵会の肩書を
使用した諸活動をご遠慮
いただきます(福田有宵
先生の特別なご許可があ
る場合を除く)。

＊新規・再入会をご希望
のかたは、随時、歓迎い
たします。

■令和六年五月例会
参加者

五月度は、四十三名の
かたがご参加をされまし

た。

また、五月の例会後は、
懇親会の予定をしており
ませんでしたが、有志二
十名からの熱心なご要望
があり、急遽、久保田恵
都予先生が会場手配にご
尽力をしてくださり、懇
親会を開催することがで
きました。例会とは違つ
た会員同士の交流の場と
して楽しんでいただきま
した。

■例会および会報誌で
使用する講演者写真及
び、資料について

有宵会の会報誌で掲載
する講演者の写真は、予
めご本人にご許可をいた
だいてから掲載を行って
おります。また、五月の
例会で福田有宵先生によ
るご講演の「人相の不思議」
の中で解説いただいた
図版は、理論の解説お
よび、例会議事録(会報
誌のWEB版を含む)な
どの二次利用について、
予め著者からご承諾を
いただいていたものとな
ります。
事務局長 八川林加